学校番号	1015

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現　（教育出版）						
副教材等	プライム常用国語　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力（語彙や文法等）を身につけましょう。
・基礎的な語彙力を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」を磨きましょう。
・国語で適切に表現する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨きましょう。
・提出物の期限は守り、定期考査・小テストには計画的に学習をして取り組んでください。

2　学習の到達目標

表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につける。自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話し書き、的確に聞き取る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:知識・理解
観点の趣旨	語句・語彙・文法等を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、また、幅広く他の人の書いた文章を読んで評価したりして自分の考えを深めている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 発問評価	記述の確認及び分析 発問評価 課題の提出 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	漢字と語彙1	教材：漢字と語彙 ステップ① 漢字の仕組みを探る ステップ② 語義を探る・語彙を広げる ステップ③ 文字による表現 副教材：常用国語プライム ・5級までの漢字・慣用句・文学史	○		○	○	a:わかりにくい言葉・表現を自分で調べている。漢字の成り立ちや語彙について思索を深めている。 c:語句・語彙・文法等を正しく理解している。 d:習った言葉に関して、文章作成などを通して適切に表現することができる。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認・課題の提出 d:記述の確認・小テスト・定期考査
	漢字と語彙2・作文の書き方	教材：漢字と語彙 ステップ③ 文字による表現 副教材：常用国語プライム ・4～3級までの漢字・ことわざ・故事成語・文学史 ・作文の書き方	○		○	○	a:わかりにくい言葉・表現を自分で調べている。ことわざ・故事成語の成り立ちや漢字の語彙について思索を深めている。 c:語句・語彙・文法等を正しく理解している。 d:習った言葉に関して、文章作成などを通して適切に表現することができる。作文のルールに従って記述することができる。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認・課題の提出 d:記述の確認・小テスト・定期考査
後期	人とつながる言葉	教材：人とつながる言葉 ステップ① 挨拶と人間関係 ステップ② 待遇表現――敬語によるコミュニケーション 副教材：常用国語プライム ・準2級までの漢字・三字熟語・四字熟語・文学史 ・電話の応対　話し方のマナー ・敬語の使い方	○		○	○	a:わかりにくい言葉・表現を自分で調べている。挨拶や敬語について思索を深めている。 c:語句・語彙・文法・敬語等を正しく理解している。 d:習った言葉に関して、文章作成などを通して適切に表現することができる。敬語のルールに従って適切に用いることができる。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認・課題の提出 d:記述の確認・小テスト・定期考査

後期	小論文の書き方	小論文Ⅰ ステップ① 意見を論理的に述べる ステップ② セルフ・ディベート ステップ③ 文章の「型」――構成の方法 副教材：常用国語プライム・準2級までの漢字・四字熟語・名言・時事用語・文学史 ・文章構成の方法 ・課題作文	○	○		○	a:わかりにくい言葉・表現を自分で調べている。漢字の成り立ちや語彙について思索を深めている。 b:作成した小論文を読んで話し合い、相互評価する。 d:習った言葉に関して、文章作成などを通して適切に表現することができる。小論文のルールに従って記述することができる。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察・発問評価 d:記述の確認・小テスト・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。